

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年9月30日(2010.9.30)

【公表番号】特表2010-501035(P2010-501035A)

【公表日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-002

【出願番号】特願2009-524641(P2009-524641)

【国際特許分類】

C 08 L 23/26 (2006.01)

C 08 F 8/32 (2006.01)

B 32 B 27/28 (2006.01)

【F I】

C 08 L 23/26

C 08 F 8/32

B 32 B 27/28 102

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月16日(2010.8.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

中和されたエチレン酸コポリマーを含む樹脂組成物であって、前記中和されたエチレン酸コポリマーは、エチレンの共重合残基と、中和前の前記エチレンコポリマーの合計重量を基準にして、約21～約25wt%、好ましくは約21～約23wt%の、3～8個の炭素を有する少なくとも1種の，-不飽和カルボン酸の共重合残基とを含み、前記酸残基が、前記エチレン酸コポリマー中のカルボキシレート基の合計モル数を基準にして、約1～約100モル%、好ましくは約10～約90モル%、より好ましくは約20～約80モル%のレベルまで、脂肪族ジアミン、脂環式ジアミン、脂肪族トリアミン、脂環式トリアミン、脂肪族ポリアミンおよび脂環式ポリアミンからなる群から好ましくは選択される1種以上のアミンにより中和され、前記中和されたエチレン酸コポリマーは、少なくとも1種の金属イオンにより任意にさらに中和されていてもよく、前記中和されたエチレン酸コポリマーは、前記中和されたコポリマーの合計重量を基準にして、約50wt%までの有限量の少なくとも1種の他の不飽和コモノマーを任意にさらに含んでもよく、前記少なくとも1種の他の不飽和コモノマーは、2～10個の炭素を有する不飽和酸の誘導体である、樹脂組成物。

【請求項2】

請求項1に記載の樹脂組成物を含む成形物品。

【請求項3】

請求項1に記載の樹脂組成物を含む少なくとも1つの層を含む多層フィルムまたはシート。

【請求項4】

請求項1に記載の樹脂組成物を含む少なくとも1つの中間層を含むラミネート物品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0116

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0116】

本発明の特定の好ましい実施形態が上述され、具体的に例示されているが、本発明をかかる実施形態に限定するものではない。以下の特許請求の範囲に記載のように、本発明の範囲および精神から逸脱することなく、種々の修正を加えることができる。

次に、本発明の態様を示す。

1. 中和されたエチレン酸コポリマーを含む樹脂組成物であって、前記中和されたエチレン酸コポリマーは、エチレンの共重合残基と、中和前の前記エチレンコポリマーの合計重量を基準にして、約21～約25wt%、好ましくは約21～約23wt%の、3～8個の炭素を有する少なくとも1種の、-不飽和カルボン酸の共重合残基とを含み、前記酸残基が、前記エチレン酸コポリマー中のカルボキシレート基の合計モル数を基準にして、約1～約100モル%、好ましくは約10～約90モル%、より好ましくは約20～約80モル%のレベルまで、脂肪族ジアミン、脂環式ジアミン、脂肪族トリアミン、脂環式トリアミン、脂肪族ポリアミンおよび脂環式ポリアミンからなる群から好ましくは選択される1種以上のアミンにより中和され、前記中和されたエチレン酸コポリマーは、少なくとも1種の金属イオンにより任意にさらに中和されていてもよく、前記中和されたエチレン酸コポリマーは、前記中和されたコポリマーの合計重量を基準にして、約50wt%までの有限量の少なくとも1種の他の不飽和コモノマーを任意にさらに含んでもよく、前記少なくとも1種の他の不飽和コモノマーは、2～10個の炭素を有する不飽和酸の誘導体である、樹脂組成物。
2. 前記中和されたエチレン酸コポリマーの中和前のメルトイントインデックスが、約60g/10分以下、好ましくは約50g/10分以下、より好ましくは約35g/10分以下である、上記1に記載の樹脂組成物。
3. 少なくとも1種の二次的な熱安定剤を好ましくは含む熱安定剤、UV吸収剤、少なくとも1種のヒンダードアミン光安定剤(HALS)を含むUV安定剤、可塑剤、処理助剤、フロー促進添加剤、潤滑剤、顔料、染料、難燃剤、耐衝撃性改良剤、成核剤およびプロッキング防止剤からなる群から好ましくは選択される少なくとも1種の添加剤をさらに含む、上記1に記載の樹脂組成物。
4. 好ましくは、フィルム、シート、フィラメント、成形製品または熱成形製品である、上記1に記載の樹脂組成物を含む成形物品。
5. 平滑な表面を有する、または少なくとも1つの粗い表面を有する、上記4に記載の成形物品。
6. 上記1に記載の樹脂組成物を含む少なくとも1つの層を含む多層フィルムまたはシート。
7. 上記1に記載の樹脂組成物を含む少なくとも1つの中間層を含むラミネート物品。
8. ガラス、ポリマーフィルム、ポリマーシート、金属フィルムおよび金属シートからなる群から選択される少なくとも1つの層をさらに含む、上記7に記載のラミネート物品。
9. 少なくとも1つのガラス層をさらに含み、前記少なくとも1つの中間層が、前記少なくとも1つのガラス層に自己接着している、上記7に記載のラミネート物品。
10. 2つのガラス層をさらに含み、前記少なくとも1つの中間層が、前記2つのガラス層の間にラミネートされかつ前記2つのガラス層に自己接着している、上記7に記載のラミネート物品。